

「基調講演」レジメ

基調講演 「計画・運営の主体性を明確に」

小谷喬之助

(社団法人 劇場演出空間技術協会 会長)

劇場・ホールの存立意義・価値はその劇場・ホールが計画・運営といった基本的な存立要件について、独自の主体的な構想を持ち、設立された地域と一体となった活動を行っている主体性が明らかに存在することが重要な問題と考えられる。

劇場・ホールは独自の上演活動を通して、その存在価値を世に問うことができると考えるからである。

日本における近代劇場・ホールが明治以来今日に至る迄、どのような変遷を経てきたかを通観しながら問題点を考えていくことにしたい。

基調講演 「魅力あるホールや劇場をつくるために」

伊東 豊雄

(建築家、(株)伊東豊雄建築設計事務所 代表取締役)

ホールや劇場の設計はさまざまな施設のなかでも最も設計が難しいと言われます。それは音響条件や舞台設備からの要求などによって形式上の規制が強く、自由な空間をつくるのが容易でないからです。その結果個性のない平均的なホールや劇場が繰り返しくられることになるのです。

しかし既存の形式を踏襲しつつも、それを乗り越えて魅力ある空間を作り出すことは可能であるはずです。そのためには建築家と各分野の専門家との十分な議論が不可欠です。皆がチャレンジ精神をもって自らを開いてこそ初めてそれは可能なのです。